



南国風の作りが目印の新店舗入口



新入社員も採用



山崎 圭吾 さん



圭吾さんが品種改良したメダカ



山崎 里奈 さん(中央)

市長の事業者訪問

FACE to FACE 31

株式会社うなとろんぐふあ～む

所在地／下南畑222



今回は、市内でメダカ販売を営んでおり、今年4月に新事業所(下南畑)が完成し、本社機能も含めて移転された、ユニークな社名が印象的な(株)うなとろんぐふあ～むを訪問しました。

夫婦二人三脚で成長企業へ

社名の由来は「小学生でも分かるように、また心に刻まれるネーミングにしたい」との思いから、自分自身の好きなものであるうなぎ、まぐろ(トロ)、とろろから名付けた」と圭吾さんは語ります。金魚の販売店からスタートした同社は、現在、メダカの販売を主力とし、100種類以上のオリジナル品種が人気を集めています。中でも、品種改良で誕生した「ふ～は～」と「うなとろんぐ」は、YouTubeでも紹介されるなど、大人気で注目を浴びています。また、メダカの飼育において、これまでにないミジンコを取り入れるなど、独自の取り組みにも積極的です。なお、同社のメダカは本市のふるさと納税返礼品としても多くの方に選ばれています。圭吾さんは「好きなことだから苦勞は感じませんでした」とこれまでを振り返りな

がらも、創業時から夫婦二人三脚で会社を成長させてきました。「お客様の声がモチベーションになっています」と山崎夫婦の言葉どおり、メダカの購入後もSNSを通じて飼育に関する相談を受けるなど、顧客目線に立った事業に取り組んでいます。

メダカだけじゃない、地域の未来も育てたい

「福祉施設などを通じて、地域の方々と一緒に仕事がしたい」と話す圭吾さんは、商品パッケージ作業の一部を福祉事業所に発注するなど、事業を通じた就労機会の提供にも力を入れています。また、近年は、教育分野におけるメダカの活用にも取り組むなど、メダカの販売にとどまらず、福祉や教育など地域に根差した事業展開を見据えています。さらに、多肉植物を栽培するなど、さまざまな事業を展開するための準備を進めています。地域とのつながりを大切にする事業に取り組む企業は、今後の市の発展に欠かすことのできないのであり、こうした事業者とともに、持続可能なまちづくりを推進していきたいと思いました。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マチイロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ

富士見市

☎ 049-251-2711(代)

FAX 049-254-2000

〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。